土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名	三次町地区　急傾斜地崩壊対策事業に伴う測量・地質調査・設計・用地調査業務委託(交付金)その2
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	その他　自然斜面

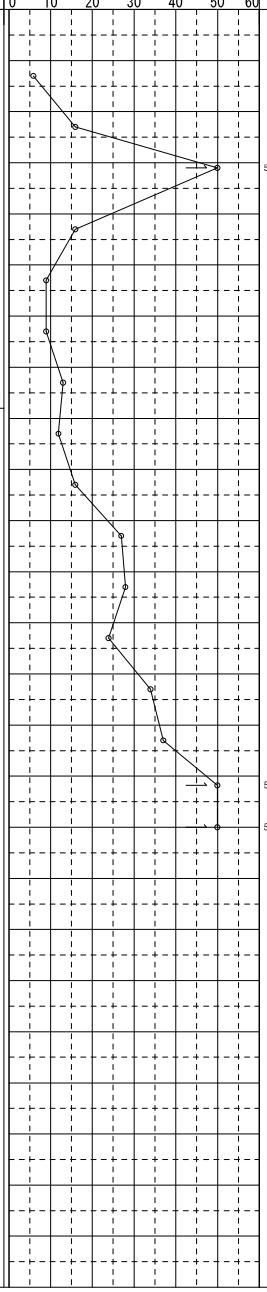
ボーリング名	BorNo.R5-8	調査位置	広島県三次市三次町　地内	北緯	34° 49' 22.3600"
発注機関	広島県北部建設事務所	調査期間	令和5年10月17日～ 令和5年11月 2日	東経	132° 49' 00.0100"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 179.74m	角度	180° 上 90° 下 0° / 0°	方向	0°北 90°東 180°南 270°西
総削孔長	22.00m	地盤勾配	24° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦地下工機　DO-C型 / エンジン：ヤンマー　NS-90EK型 / ポンプ：東邦地下工機　BG-3C型

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	現場土質名(模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事
1	178.24	1.50		礫混り砂質土		黒褐	rd2		最上部層(表土) ・最上位は腐植混じる黒褐の腐葉土 ・砂は細ー中粒、細粒分及び腐植を伴う
2～4	174.84	4.90		礫混り粘土質砂		黄褐	rd3		崩積土 ・基岩同質の岩屑から成る崩壊堆積物 ・φ40mm程度以下の基岩同質の中ー粗礫が混入 ・基質は粘性中位な粘土質砂であり、砂分は細ー中粒砂から成る ・φ5mm程度以下の細礫ー鉱物片を伴い粒度不均一
5～8	170.84	8.90		粘土質砂		黄褐	rd3		崩積土 ・泥流状を呈す基質支持の崩壊堆積物 ・礫はφ20mm程度以下の基岩同質の細ー中礫及びクサリレキが混入 ・基質は基岩風化帯起源の粘土質砂 ・砂分は細ー中粒砂、粘性高く土柱状
9～15	163.84	15.90		玉石混り粘土質砂礫		黄灰	rd5		古期崩壊堆積物 ・場所的に確認石長L=10cm程度の玉石が混入する ・基岩同質の岩屑から成る崩壊堆積物 ・礫はφ75mm程度以下の中ー粗礫 ・基質は基岩風化帯起源の粘土質砂であり砂分は細ー中粒砂 ・φ5mm程度以下の細礫ー鉱物片を伴い粒度不均一 ・基質のしまりは比較的良く、相対密度は中位～非常に密なを示す ・GL-14.90m付近より、玉石及び礫は密となる
16～20	159.74	20.00		玉石混り砂礫		黄灰	rd5		更新世段丘堆積物 ・確認石径φ200mm以下の玉石が混入 ・礫はφ75mm程度以下の円磨度中位な中ー粗礫 ・基岩同質礫をはじめ花崗岩質礫や泥質岩礫等から成り礫種に富む ・基質は中ー粗粒砂、粒径幅広く細粒分を伴う
21～22	157.74	22.00		流紋岩		淡紫			流紋岩質凝灰岩(CM) ・岩質はやや堅硬なるも亀甲状の不規則な節理が発達 ・採取試料は岩片ー短柱状 ・節理面は概ねで暗褐色に変色、黄灰色の膠着物が場所的に挟在

孔内水位／測定月日：10/23 7.80

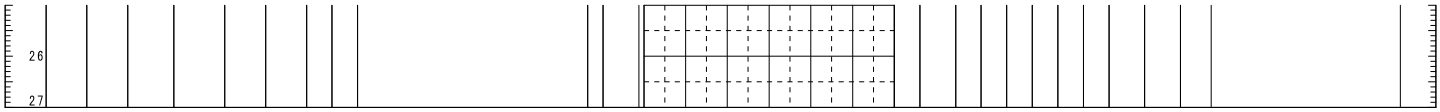
標準貫入試験

深度ーN値図



N値	深度(m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
6	1.15	1	2	3	6/300		
16	1.45～2.15	4	5	7	16/300		
50以上	2.45～3.10	貫入不能			50/0	0	
16	3.45～4.15	5	5	6	16/300		
9	4.45～5.15	2	3	4	9/300		
9	5.45～6.15	2	3	4	9/300		
13	6.45～7.15	3	4	6	13/300		
12	7.45～8.15	3	4	5	12/300		
16	8.45～9.15	5	5	6	16/300		
27	9.45～10.15	7	10	10	27/300		
28	10.45～11.15	8	9	11	28/300		
24	11.45～12.15	6	7	11	24/300		
34	12.45～13.15	9	13	12	34/300		
37	13.45～14.15	8	10	19	37/300		
50以上	14.45～15.05	13	17	20	50/260	260	
50以上	15.31～16.00	貫入不能			50/0	0	

試料採取：深度(m)／試料番号／採取方法

室内試験

削孔月日：10/24　10/25　10/26　10/27　10/30　10/31　11/1